



平成29年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成29年1月26日

上場会社名 日糧製パン株式会社 上場取引所 札
 コード番号 2218 URL <http://www.nichiryo-pan.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 吉田 勝彦
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 北川 由香里 (TEL) 011-851-8188
 四半期報告書提出予定日 平成29年2月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第3四半期の業績 (平成28年4月1日～平成28年12月31日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第3四半期	13,436	△0.5	353	△9.8	369	△6.5	237	△2.4
28年3月期第3四半期	13,505	1.1	391	5.6	394	3.4	243	13.3

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第3四半期	11.32	—
28年3月期第3四半期	11.60	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第3四半期	13,194	4,490	34.0
28年3月期	12,582	4,162	33.1

(参考) 自己資本 29年3月期第3四半期 4,490百万円 28年3月期 4,162百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	—	—	0.00	0.00
29年3月期	—	—	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

現時点において、平成29年3月期の期末配当予想額は未定であります。

3. 平成29年3月期の業績予想 (平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	18,000	1.2	430	3.0	420	0.4	230	△18.0	10.98

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

29年3月期3Q	21,039,480株	28年3月期	21,039,480株
29年3月期3Q	89,466株	28年3月期	86,499株
29年3月期3Q	20,951,407株	28年3月期3Q	20,960,199株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.2「業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	P. 3
会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	P. 3
3. 四半期財務諸表	P. 4
(1) 四半期貸借対照表	P. 4
(2) 四半期損益計算書	P. 6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	P. 7
(継続企業の前提に関する注記)	P. 7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 7
(セグメント情報等)	P. 7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間(平成28年4月1日～平成28年12月31日)におけるわが国経済は、海外経済の不安定な状況を背景とした為替や株価変動の影響もあり、個人消費は足踏み状態が続きました。当業界におきましては、消費者の生活防衛意識が依然として強く、販売競争の激化に加え、労働需給の逼迫による人件費の上昇もあり、厳しい経営環境となりました。

このような情勢下におきまして、当社は「おいしく、北海道らしく。」の方針のもと、「日糧ベスト70」を中心とした主力製品の品質向上を継続し、安全・安心でお客様に喜ばれる高品質な製品の提供に努めました。「絹艶」、「北の国のベーカリー」、「ラブラブサンド」など主力シリーズ製品の積極的な品質訴求を行い、消費者キャンペーンを活用して取扱拡大をはかりました。また、生産、販売、管理の各部門における業務のさらなる見直しや効率化を進め、継続して経営基盤の強化へ取り組んでまいりました。

製品別の売上状況につきましては、食パン部門は、「絹艶」の“しっとり、やわらか”な食感を向上させるとともに、「絹艶北海道」および「絹艶プレミアム」のリニューアルを実施し、取扱拡大をはかったことにより売上は好調に推移し、前年同期を上回りました。菓子パン部門は、ペストリー類やコッペパンタイプのロール類が伸び悩み、前年同期の売上を下回りましたが、主力の「北の国のベーカリー」と「ラブラブサンド」シリーズの売場での品揃え強化や、「こだわり」シリーズなどのドーナツ類や季節感を取り入れた製品を投入し、売上の確保に努めました。和菓子部門は、「たまごふかし」などの蒸しパン類が伸長し、「一口和菓子」などの和生類や季節商品が順調に推移するとともに、北海道産原料を使用した「福かまど」シリーズが寄与し、好調な売上となりました。洋菓子部門は、コンビニエンスストア向け製品の売上が減少し、前年同期の売上を下回りましたが、「チョコブリッコ」・「ウエハスサンド」のリニューアル実施や「チーズタルト」などの新製品の投入により、売上の回復をはかりました。調理パン・米飯部門は、調理パン類が伸び悩みましたが、量販店向けの米飯が順調に推移し、前年同期の売上を上回りました。

以上の結果、当第3四半期累計期間の業績につきましては、売上高は13,436百万円(対前年同期比99.5%)、営業利益は353百万円(対前年同期比90.2%)、経常利益は369百万円(対前年同期比93.5%)、四半期純利益は237百万円(対前年同期比97.6%)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期会計期間末における資産合計は13,194百万円で前事業年度末に対し612百万円増加しました。流動資産は4,712百万円で主に現金及び預金が50百万円、売掛金が420百万円増加した結果、前事業年度末に対し497百万円増加しました。固定資産は8,482百万円で主に投資その他の資産のうち投資有価証券が106百万円増加した結果、前事業年度末に対し114百万円増加しました。負債合計は8,704百万円で主に支払手形及び買掛金が139百万円、長期借入金(1年内返済予定含む)が178百万円増加し、未払法人税等が44百万円減少した結果、前事業年度末に対し284百万円増加しました。純資産合計は4,490百万円で利益剰余金が237百万円、その他有価証券評価差額金が91百万円増加した結果、前事業年度末に対し328百万円増加しました。

この結果、当第3四半期会計期間末における自己資本比率は34.0%、1株当たりの純資産は214円35銭となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の見通しといたしましては、雇用・所得環境の改善傾向が続くなかで、景気は緩やかな回復に向かうことが期待されますが、先行きの不透明感は継続することが懸念されます。当業界におきましては、人手不足に伴う人件費などのコスト上昇や原油価格上昇の影響が懸念され、厳しい経営環境が継続することが予測されます。

このような情勢下におきまして、当社は、「おいしく、北海道らしく。」の方針のもと、「日糧ベスト70」を中心とした主力製品のさらなる品質向上を推進し、安全・安心でお客様に喜ばれる高品質な製品開発に努めてまいります。食パン「絹艶」、菓子パン「北の国のベーカリー」、和菓子「福かまど」など主力シリーズ製品の積極的な品質訴求と集中販売を推進するとともに、健康志向に即した製品や季節の素材を取り入れた製品の開発・育成への取組みなど、生産・販売一体となった製品施策・営業戦略の展開により売上拡大をはかり、各部門における一層の業務効率化を継続して推し進め、業績向上に向けて努力してまいります。

なお、平成29年3月期通期に関する業績予想につきましては、平成28年5月12日に公表した内容から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更等)

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を第1四半期会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

この結果、当第3四半期累計期間の営業利益、経常利益及び税引前四半期純利益はそれぞれ2,875千円増加しております。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成28年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,827,460	1,878,041
受取手形及び売掛金	2,031,798	2,452,661
商品及び製品	36,842	18,111
仕掛品	36,776	44,181
原材料及び貯蔵品	131,391	201,209
繰延税金資産	77,880	44,816
その他	74,888	75,649
貸倒引当金	△2,297	△1,992
流動資産合計	4,214,740	4,712,679
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1,477,151	1,475,470
機械及び装置(純額)	1,282,405	1,273,169
土地	4,662,405	4,662,405
その他(純額)	191,104	203,706
有形固定資産合計	7,613,066	7,614,751
無形固定資産		
その他	84,860	88,247
無形固定資産合計	84,860	88,247
投資その他の資産		
投資有価証券	452,016	558,285
投資不動産(純額)	79,376	79,338
繰延税金資産	91,846	90,334
その他	47,620	52,438
貸倒引当金	△1,136	△1,140
投資その他の資産合計	669,723	779,256
固定資産合計	8,367,651	8,482,255
資産合計	12,582,391	13,194,935

(単位：千円)

	前事業年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成28年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,037,404	2,176,908
短期借入金	850,000	850,000
1年内返済予定の長期借入金	514,512	514,322
未払法人税等	95,851	51,208
賞与引当金	207,042	107,521
その他	1,100,042	1,164,105
流動負債合計	4,804,852	4,864,065
固定負債		
長期借入金	862,584	1,041,290
再評価に係る繰延税金負債	1,190,579	1,190,579
退職給付引当金	1,506,151	1,547,445
役員退職慰労引当金	51,285	56,225
その他	4,600	4,700
固定負債合計	3,615,200	3,840,240
負債合計	8,420,053	8,704,305
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,051,974	1,051,974
利益剰余金	304,112	541,380
自己株式	△10,674	△11,197
株主資本合計	1,345,412	1,582,156
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	122,585	214,132
土地再評価差額金	2,694,340	2,694,340
評価・換算差額等合計	2,816,926	2,908,473
純資産合計	4,162,338	4,490,629
負債純資産合計	12,582,391	13,194,935

(2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
売上高	13,505,923	13,436,955
売上原価	9,591,140	9,526,983
売上総利益	3,914,783	3,909,971
販売費及び一般管理費		
販売費	2,954,570	2,966,421
一般管理費	568,314	590,125
販売費及び一般管理費合計	3,522,885	3,556,547
営業利益	391,897	353,424
営業外収益		
受取利息	155	12
受取配当金	10,006	11,751
受取賃貸料	8,108	8,254
受取保険金	2,780	10,115
その他	6,950	5,928
営業外収益合計	28,001	36,061
営業外費用		
支払利息	24,997	20,280
その他	77	0
営業外費用合計	25,074	20,280
経常利益	394,825	369,205
特別利益		
固定資産売却益	449	2,210
投資有価証券売却益	57	-
特別利益合計	507	2,210
特別損失		
固定資産売却損	-	215
固定資産除却損	9,403	6,823
減損損失	62	35
特別損失合計	9,465	7,073
税引前四半期純利益	385,867	364,343
法人税等	142,720	127,076
四半期純利益	243,146	237,267

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社は、食品関連事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。